

はじめての Keynote

研修資料

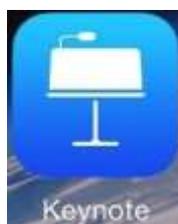


1 Keynote について

Keynoteはアップル社製の定番プレゼンテーションアプリです。PCでいうPowerPointの簡易的なものと考えていただければイメージしやすいかと思います。KeynoteにはMac版もありますが、今回はiOS版にしぼって解説したいと思います。

2 アプリの起動

それでは、早速 Keynote を立ちあげましょう。このアイコンをタップしてください。



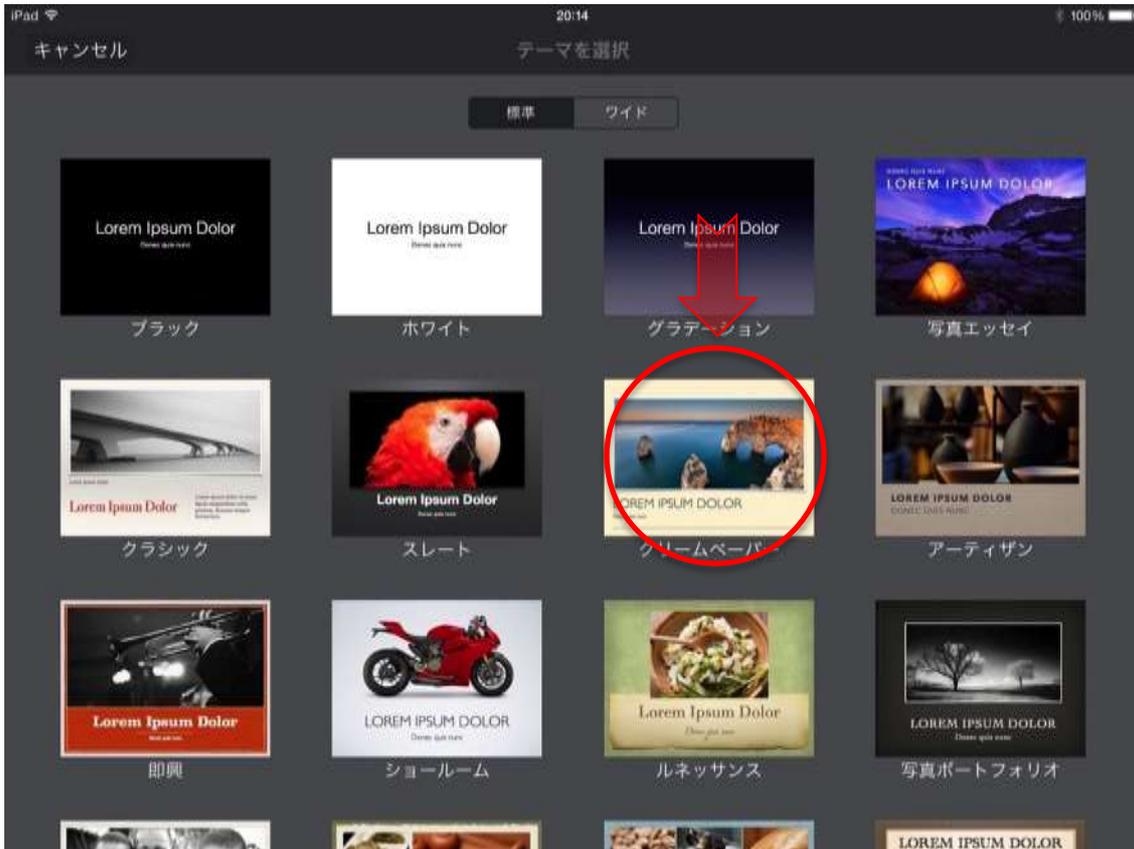
3 ファイル新規作成

タップすると今までに作成されたプレゼンテーションが並んでいる画面になります。

「新規作成」をタップします。



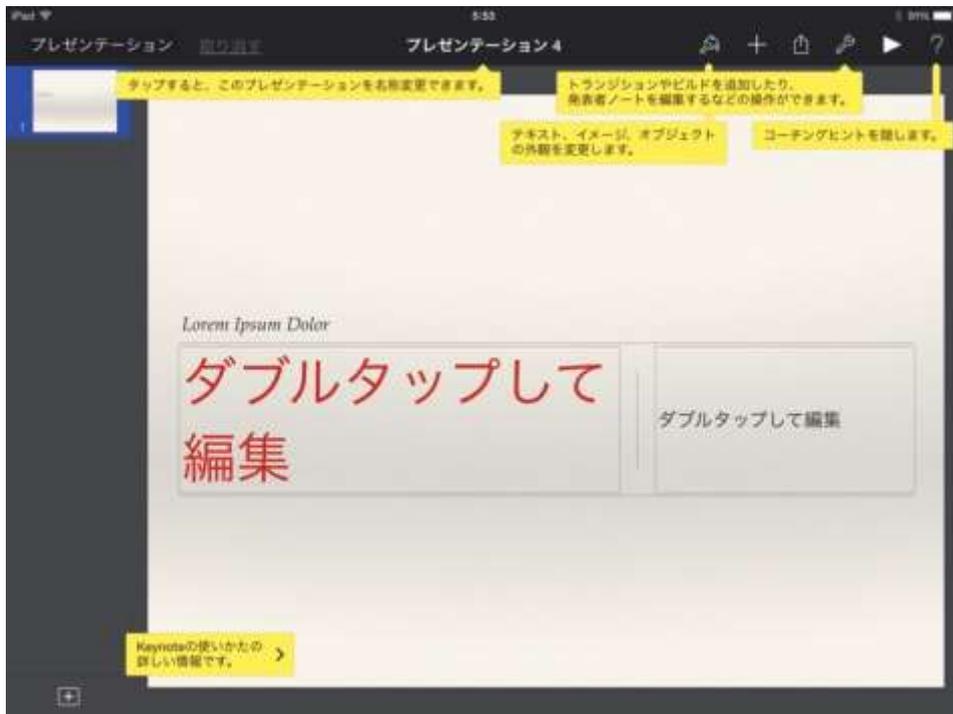
4 好きなテーマを選びます。



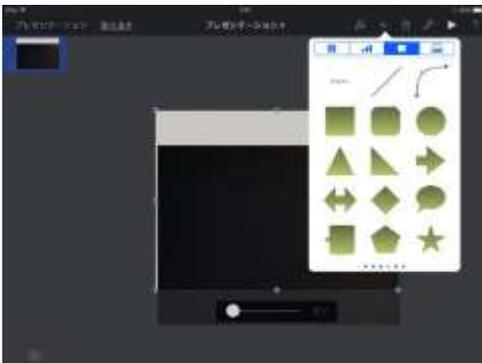
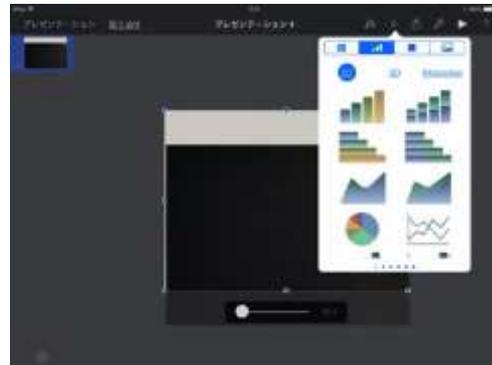
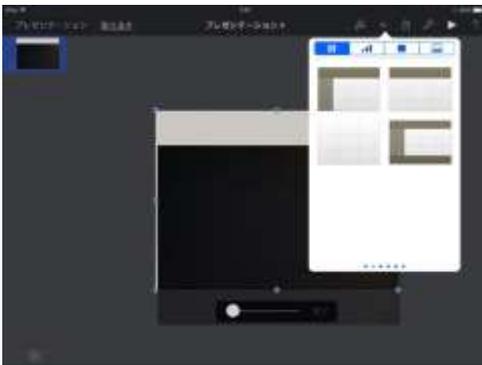
5 編集画面が開きます。



6 右上の?マークを押すとコーチングヒントが出てきます。



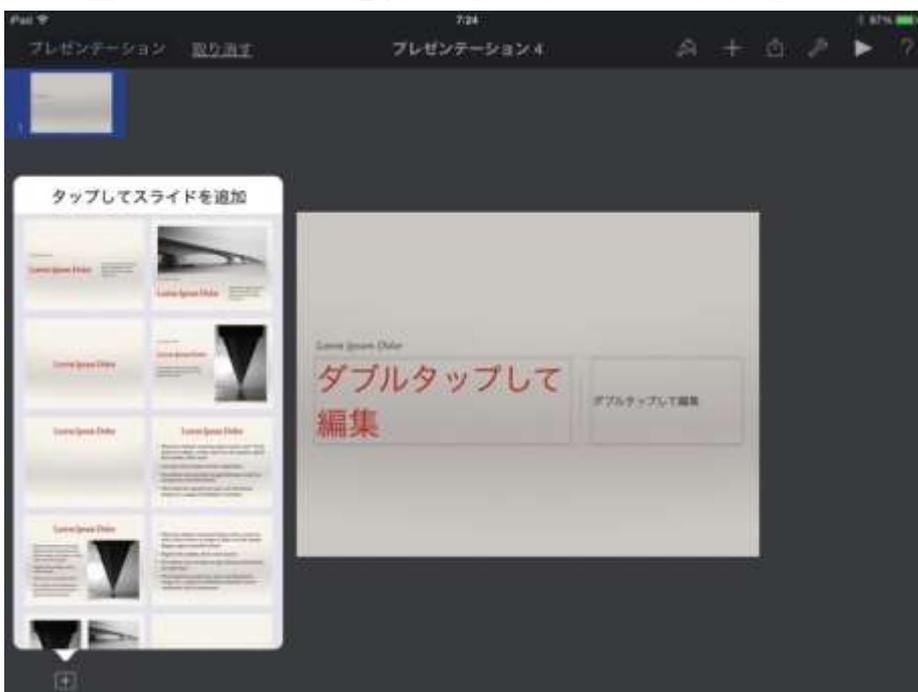
7 +ボタンを押すと左から順に表、グラフ、オブジェクト、写真をスライドに追加することができます。



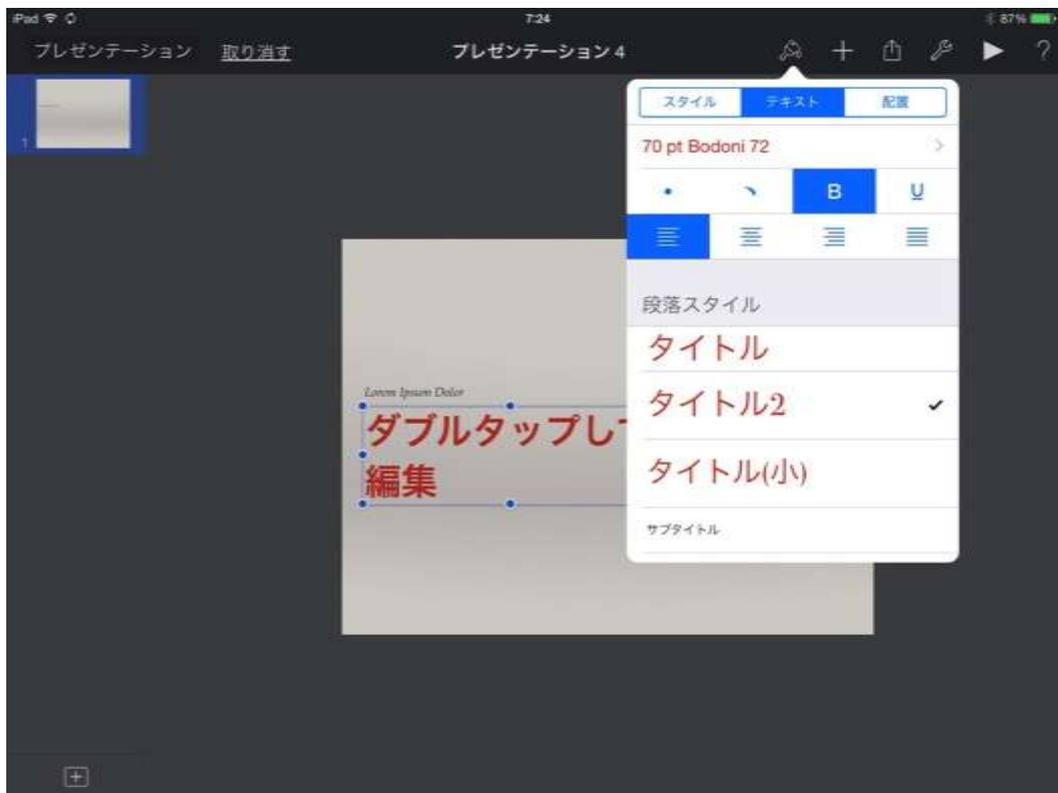
8 工具のボタンを押すと、トランジションや、プレゼンテーションツールなどを追加することができます。



9 左下の+ボタンを押すとスライドが追加されます。



10 「タップして編集」を押すと、テキストのスタイルを変えることができます。



その他については、教材を作りながら解説していきます。

☆教材 1 30秒タイマーを作ろう<アニメーション>

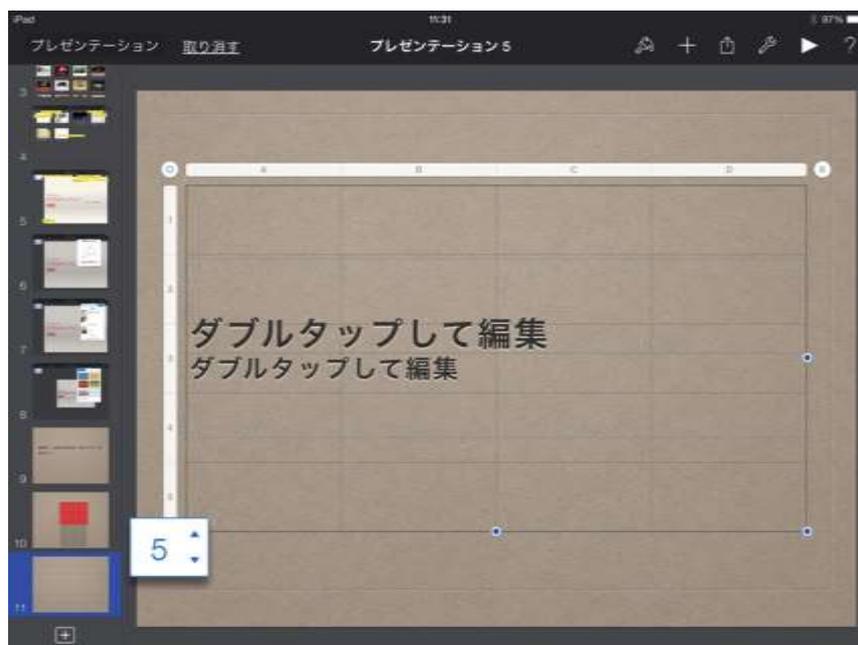
5秒ごとに赤色が消えていくタイマーを作ってみましょう。

(チャレンジ課題!!)

- ① スライドに表を挿入します。



- ② 1 × 6 の表にします。



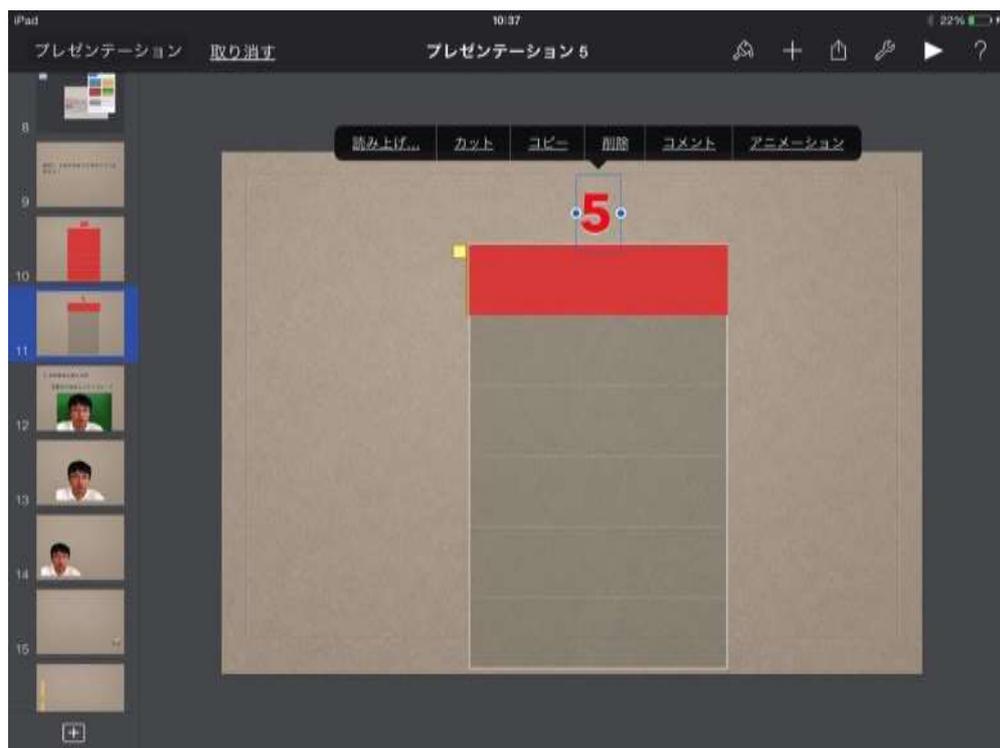
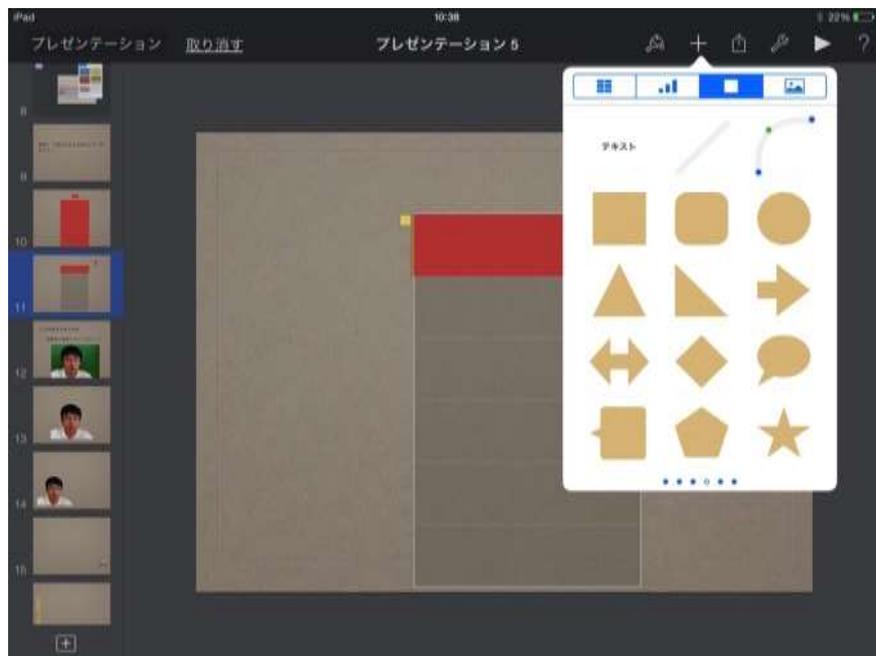
- ③ 四角のオブジェクトを追加し、色を赤にします。



- ④ オブジェクトにアニメーションを加えます。四角をタップし、アニメーションを選んでトレースというエフェクトを5秒の長さにします。



⑤ テキストを選んで数字「5」を入れます。



- ⑥ 効果はイン、アウトともにディゾルブを選んでください。
インは前のビルドで、アウトは前のビルドの後で動くようにそれぞれ設定をします。



- ⑦ コピーするなどして同じ手順を繰り返します。

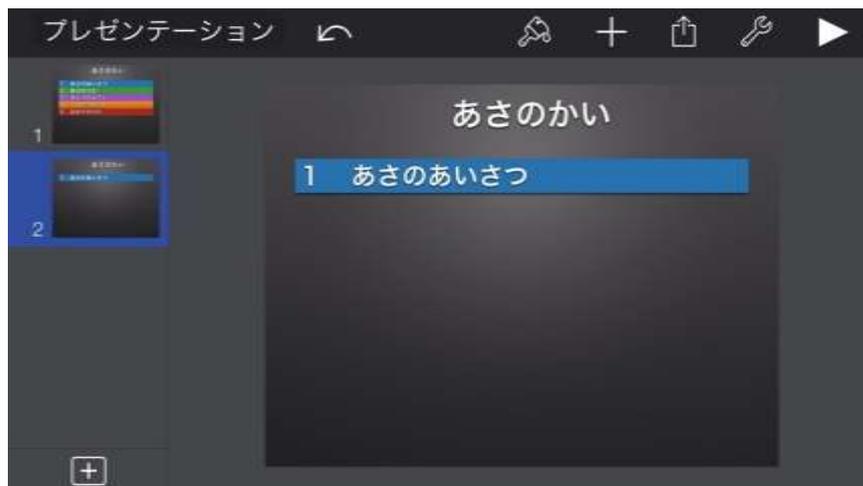
- ⑧ これを繰り返していけば完成です！！



<すぐ使えるアニメーション機能の工夫>

アニメーション機能を使って消えていく提示用スケジュール表をつくることができます。

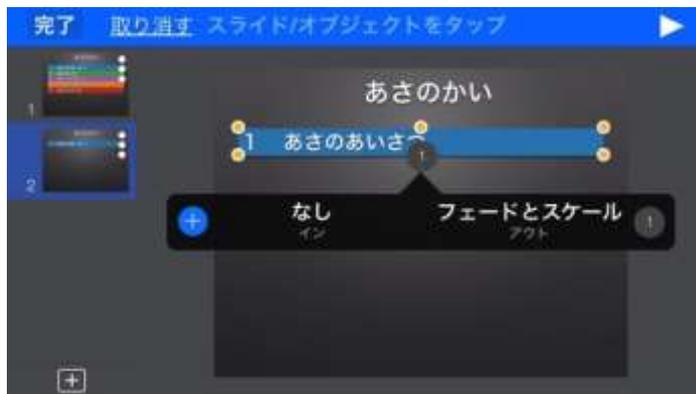
- ① 新規スライドを作成し、テキストを入れ、スタイルから適当なものを選びます。



- ② 追加したテキストをタップして、アニメーションの追加をします。



- ③ アウトを選び、「フェードとスケール」を追加します。



- ④ 一つできたらコピーとペーストで下に追加し、テキストを変えます。



- ⑤ この手順を繰り返すと、タップして消える手順表が完成します。



学びに使えるアイデアをぜひ考えていきましょう！

☆ 教材 2 動く絵本を作ってみよう。

＜マジックムーブを使って＞

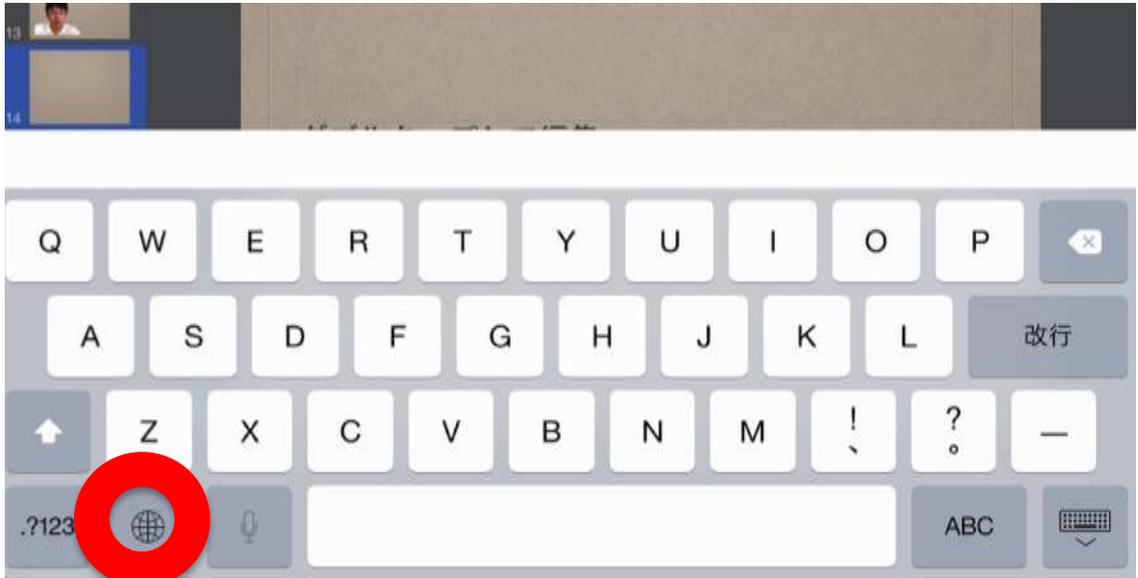
- ① 好きなイラストや挿絵を用意し、写真を撮ります。子どもたちを登場させたいときには、子どもたちの写真を緑や青の背景で撮影し、＋ボタンで取り込みます。



- ② インスタントアルファという機能を使うと背景をなくすことができます。絵本作りにはぴったりの機能です。



- ③ 今回は撮影していただいた写真もしくは絵文字を使って簡単な動く絵本をつくってみましょう。絵文字をスライドに入れるために、地球マークをタップします。



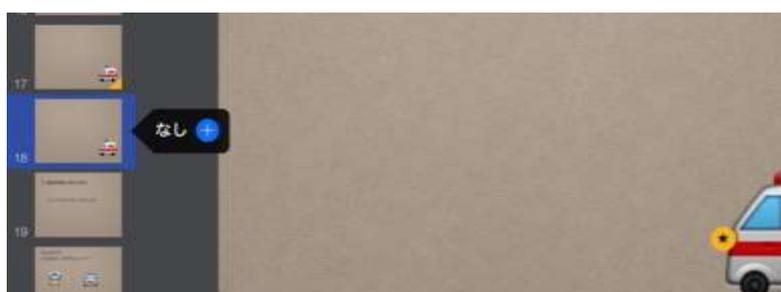
- ④ 地球マークをタップしたのちに使いたいイラストの絵文字を選んでください。もちろん、文字なのでフォントの大きさを変えることができます。



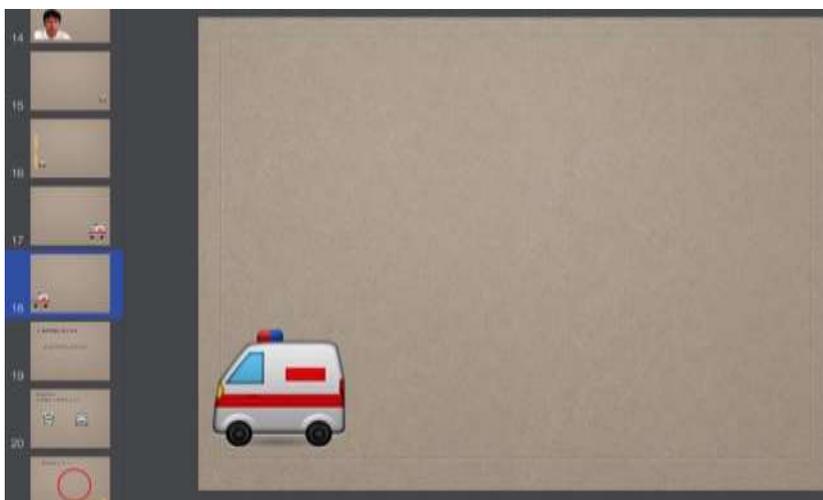
- ⑤ イラストが入ったら、トランジションとビルドを選び、ページが並んでいるタブから、マジックムーブを選択します。



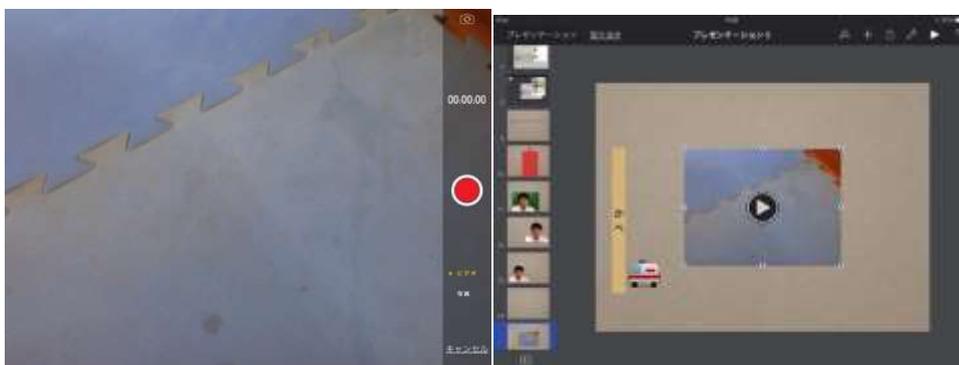
- ⑥ 「スライドを複製しますか？」で「はい」を選ぶと、スライドが複製され、スライドの中のイラストに☆マークがつきます。



- ⑦ 複製された方のスライド（下の方です）のイラストの位置を変えます。



- ⑧ スライドショーを再生するとあら不思議。イラストが動きました！！この機能は複数のオブジェクトでも使えますので、工夫次第でとても素晴らしい教材になると思います。
- ⑨ なお、音を入れたいときは、音源を流して iPad の録画機能で撮影して、スライドに貼り付ける方法が簡便だと思います。



☆ 教材3 選択問題を作ろう。

<インタラクティブリンクを使って>

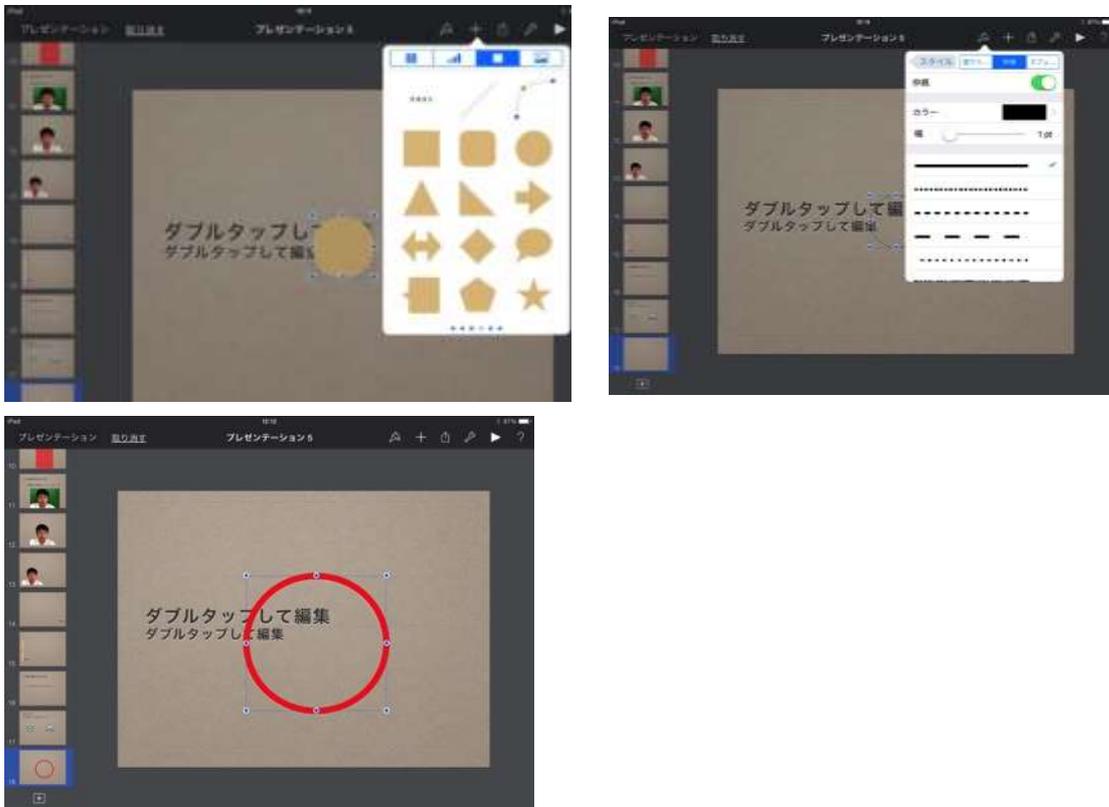
- ① 問題文を打ち込みます。そして先ほどと同様に絵文字でバスを入れます。



- ② 大きさを変更したら、もう一つ絵文字を入れ並べましょう。(コピー推奨)



- ③ オブジェクトから円を追加し、書式を整えて正解のときの赤丸ページを作ります。



- ④ 続いて、誤答のときの残念ページを作ります。テキストと、オブジェクトの矢印を追加します。



- ⑤ 問題文のページに戻って、バスをタップして、ツール→プレゼンテーションツール→インタラクティブリンクの順にタップし、スライドヘリンクで、○ページを選びます。



- ⑥ 同様にもう一方の絵は残念ページに行くように設定します。



- ⑦ 残念ページからは、問題ページに戻るように矢印を押すと問題ページに行くように設定します。



- ⑧ これでほぼ完成です。一連のページをコピーすると問題が増やせます。
- ⑨ なのですが、この場合には矢印以外の場所をクリックすると次のページに行ってしまうので、ページのどこをクリックしても戻るように透明な四角で全体を覆い、インタラクティブリンクの機能を設定すると良いでしょう。

